

2511PugwashJapan.pdf

2025.11 ブログ：

『広島市でパグウォッシュ会議 世界大会』の詳細

(→ <http://www.1968start.com/M/blog/index4.html#2511b>)

「広島市でパグウォッシュ会議 世界大会」

中所武司

■このエッセイのきっかけ

11/1 から広島市で開催のパグウォッシュ会議世界大会に関し、3 回目のブログを記載。

【過去のブログ】

2015.11 番外編：長崎開催のパグウォッシュ会議閉幕

<https://www.1968start.com/M/blog/old.html#1511b>

2011.12 番外編：パグウォッシュ会議を覚えていますか？

<https://www.1968start.com/M/blog/old.html#1112>

【朝日の記事＜11/2～11/5＞】

[1]「核軍縮の進展、水泡に」 トランプ氏「核兵器実験」指示、批判続出

広島でパグウォッシュ会議

<https://digital.asahi.com/articles/DA3S16336039.html>

[2]「核兵器は絶対悪」 トランプ氏の投稿に 94 歳素粒子論の重鎮が警鐘

<https://digital.asahi.com/articles/ASTC142FCTC1PITB00CM.html>

[3] トランプ氏、不透明な「核兵器実験」 投稿に事実誤認も「他国がやっている」

<https://digital.asahi.com/articles/DA3S16336025.html>

[4]「核抑止では平和築けず」 広島宣言を発表 パグウォッシュ会議閉幕

<https://digital.asahi.com/articles/ASTC53JXHTC5PITB019M.html>

■ [1] の記事からの抜粋とコメント (→★)

- ・世界の科学者らが核兵器の廃絶を話し合う「パグウォッシュ会議」第63回世界大会が1日、広島市で開幕した。

→★2015.11のブログの長崎開催のパグウォッシュ会議は、第61回だったので、5年ごとに開催のようだ。

- ・米トランプ大統領が「核兵器の実験」を国防総省に指示したとの投稿を受け、登壇者らからは「核軍縮の進展が水泡に帰す」などの批判が相次いだ。

- ・今回の大会には、米ロを含む39カ国・地域から約300人が参加。5日までの日程で、AI（人工知能）などが核兵器の運用に与える影響などが議論される見通し。

→★国連加盟国の数は193か国のようなので、参加国数39はまだまだ少ないかな。

＜視点：冷戦終結の成果、失う恐れ＞

- ・米国は、米ソ冷戦終結後の1992年を最後に、地下核実験を停止。
トランプ大統領の指示が「地下核実験」を意味するなら、三十数年を経て、冷戦終結の成果さえ失うことになる。
- ・米ロ間の核軍縮条約の新戦略兵器削減条約（新 START）は2026年2月の期限切れで、世界の9割を占める米ロの核兵器の上限に歯止めがない時代に突入する。
- ・トランプ大統領の投稿は、核戦力の強化を進めるロシアと核弾頭数を増やしている中国を牽制する狙いがある。米ソ首脳が「核戦争に勝者はいない」と合意して今月で40年。冷戦期よりも核戦争のリスクが高まったと言われる。

■ [2] の記事からの抜粋とコメント (→★)

- ・1957年の第1回会議に参加した湯川秀樹、朝永振一郎（共にノーベル物理学賞受賞）は米ソの核軍拡競争の最中の1975年、核兵器で相手国の攻撃を思いとどまらせようという考え方を捨てるべきだとする「核抑止を超えて—湯川・朝永宣言」を発表した。

→★私がパグウォッシュ会議を知ったのは、1967年（大学3年生）のころ。

（参照）<https://www.1968start.com/M/blog/1112pugwash.htm>

- ・会議は、核兵器の開発競争が人類の存続をおびやかしていると訴えた哲学者ラッセルと相対性理論のアインシュタインらの警告を原点に、科学者の社会的責任を問うてきた。
- ・パグウォッシュ会議の会長は、「原爆の犠牲者を忘れないためにここに来た。核兵器と大量破壊兵器がなくならなければ、恒久平和は確立されない」と語った。

■ [3] の記事からの抜粋とコメント (→★)

- ・核爆発を伴う核実験は、中国の1996年を最後に、核不拡散条約の五つの「核兵器国」のいずれも実施していない。その後、インドやパキスタンに続いて北朝鮮が核実験に踏み切ったが、直近でも2017年だ。中国は近年、核戦力を不透明な形で増強している。

→★米露英仏中の5か国を「核兵器国」と定め、それ以外への核兵器の拡散を防止する核兵器不拡散条約では、拡散防止を実現できていない。

→★5か国のみに既得権を認める方法では、核兵器の廃絶を実現できないのは明白。
核兵器保有国のみが核の脅威から逃れられているという不平等の前提を除き、すべての国は平等という前提から出発してその廃絶を議論すべきではないだろうか？

■ [4] の記事からの抜粋とコメント (→★)

- ・広島宣言を発表し、核兵器保有国が軍備拡大と近代化を進め、核兵器を使わせないとする核のタブーが揺らいでいると指摘。すべての核保有国に対話が広がる必要があるとした。
- ・科学者は科学的根拠と倫理的判断に基づいて指導者を導く特別な責任があるとし、人工知能や量子技術などの新技術によるリスクに対処する行動を取るよう呼びかけた。

以上